

全体事業費はサンルダム案が最も少なく、経済的に有利である。

効果の発現はサンルダム案が最も早い。

サンルダムを整備した場合、目標流量を超える洪水が発生しても、基本高水流量までは洪水調節が可能であり、河道改修のみで対応した場合に比べ、下流地域の氾濫被害を少なくできる。

利水面及び低水管理面で他に有効な代替案がないことから、サンルダム案が優れている。

遊水地の場合、当該市町の経営耕地面積の約4～11%が制約を受ける。